

# 神海丸通信

～イカ釣りver～

6月14日に浜田港を出港し翌日15日から、石川県の西側およそ70km沖合の海域で実習生一同元気に操業を行っています。イカ釣り実習ではこれまでとは違い、昼夜が逆転します。夕方起床し、夜は前半、後半に分かれて、イカ釣り操業と学習を行います。実習生は手釣りでイカ釣りをを行い、手釣りの合間にイカ立て作業を行います。乗組員の方に教えて頂きながら大きさ別に1本ずつ手際よくパンに詰めていきます。

また、学習も1年生は課題や海技士勉強、2年生は間近に迫った海技士試験に向けて、取り組んでいます。



イカが釣れて嬉しそうな1年のM君とH君



作業前に乗組員の方と仲良くツーショット

夜はイカ釣り学習を行っています。



2年生は海技士試験に向けて学習の時間以外でもそれぞれ勉強に励んでいます。1年生も2年生の背中を見て課題や自主学習に取り組み、意欲的に学習を行っています。



イカ立て作業を行っています。大漁です



イカの扱いに慣れている2年生のO君とK君



大漁のパンケース！！

18日の操業では、終了前に大量、大漁のイカが釣れ実習生はイカ立てや冷凍させるイカのパンケース運搬など後半組の1年生全員で協力して作業に取り組みました。

今年の神海丸でのイカ釣り操業は昨年とは違い陸岸に近い海域で実習を行っています。実習生が安全で安心して実習を行えることを第一に考え安全を確保出来る操業海域を決定しながら実習を行っています。